

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する



地震

巨大地震の時には最大で「震度7」の揺れが来ます。



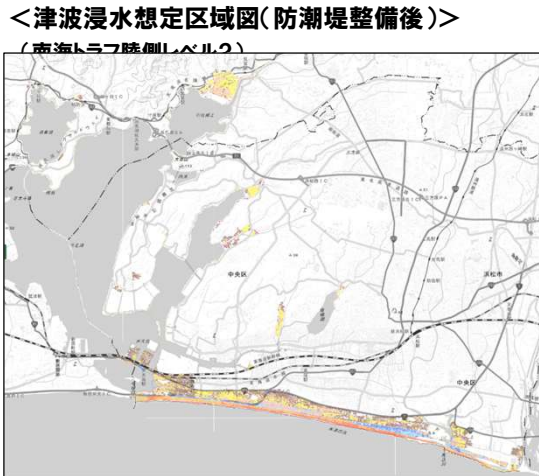
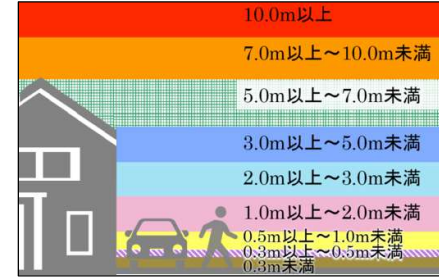
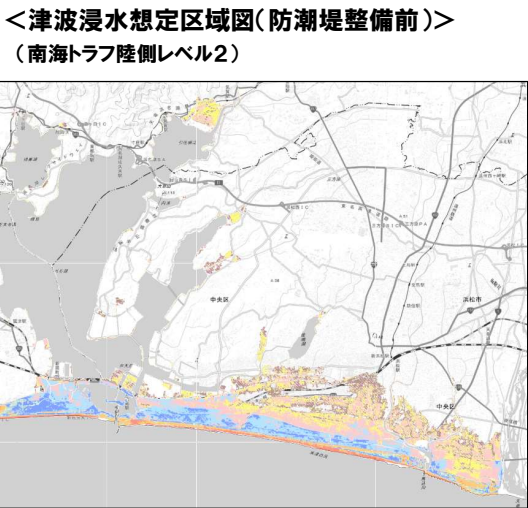
津波

・自宅に、津波が「来るのか」、「来ないのか」

・自宅にこない場合は、市内でどこまで津波が来るのか

を「津波浸水想定区域図」で確認しましょう。





※防潮堤整備後の浸水想定区域図は、浜松市沿岸域防潮堤、馬込川水門等の施設が最大限効果を発揮した場合を仮定して検討したものであり、防潮堤整備により浸水しなくなると想定した地域においても津波による浸水の危険がなくなることではありません。

津波は遠州灘沿岸部で約20分、奥浜名湖付近で約60分後に市街地に流入します。より詳細な情報は、「浜松市防災マップ」等で確認することができます。



防災マップ



手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する

津波が来る場合

津波が来ない場合

津波が到達するまでに、たどり着くことができる「避難先※」に避難します。

➤ **到達時間** と **避難先** を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

自宅が危険な場合は、あらかじめ決めておいた「避難先※」に避難します。

➤ **避難先（集合場所）** を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

※緊急避難場所、津波避難ビル等が分からない場合は、「浜松市防災マップ」等で確認しましょう。

目次

大雨の時（  河川氾濫の危険・  土砂災害の危険）	
手順① 避難に時間がかかる人がいるか確認する	1ページ
手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する	2ページ
手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する	3ページ

巨大地震・津波が発生したら・・・

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する	4ページ
手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する	4ページ

「わたしの避難計画」見本

メモ欄
～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

大雨の時

巨大地震の時

自由記載欄（持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など）

避難所へ行くときは、くずりを忘れずに持っていき

災害に備え、1週間分の水、食料、生活必需品の備蓄をしましょう。

ガイドに沿ってこれをつくっていくのじゃ！



パソコンやスマホでも、作成できます。（オススメ！）



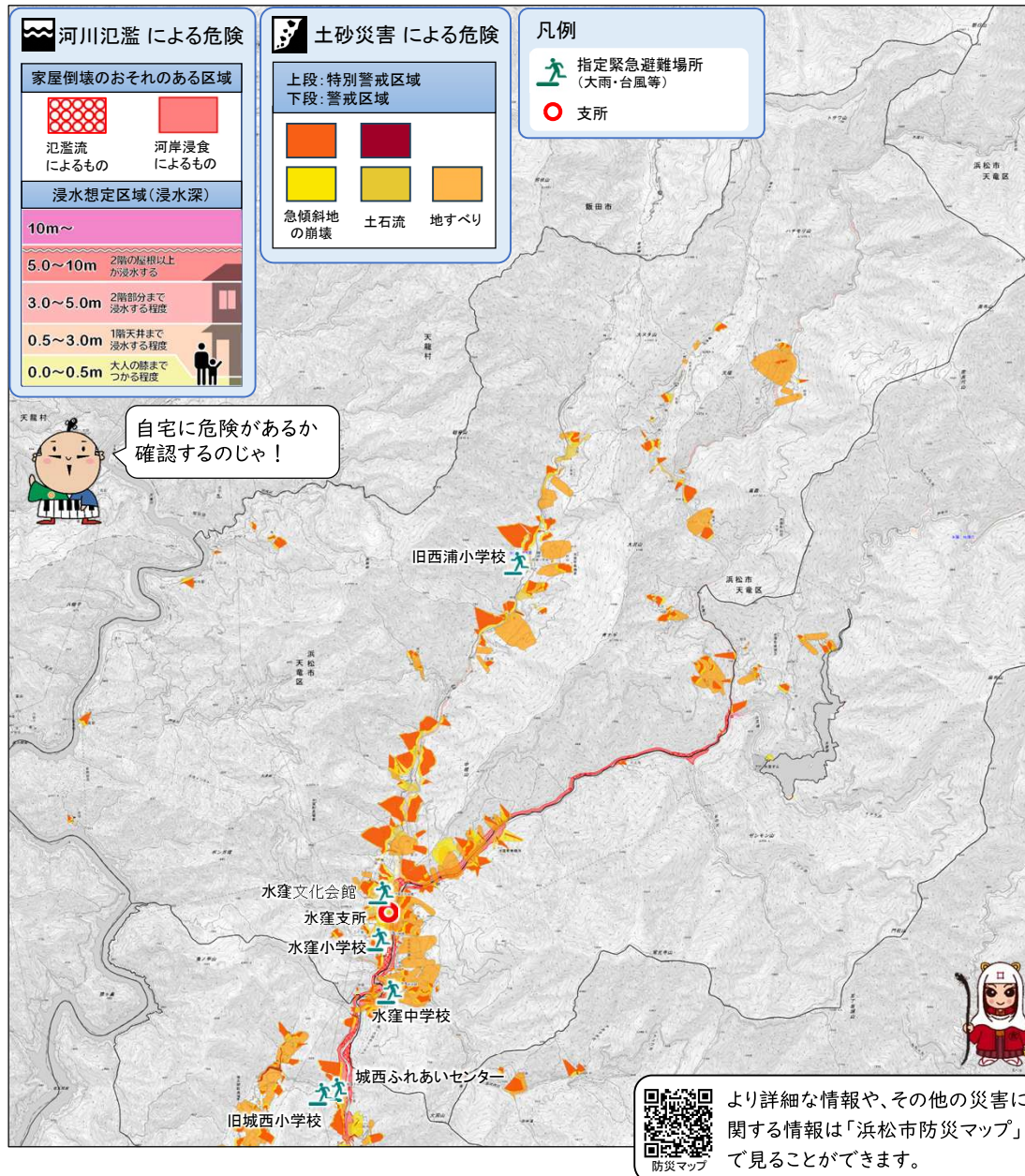
WEB版



手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する

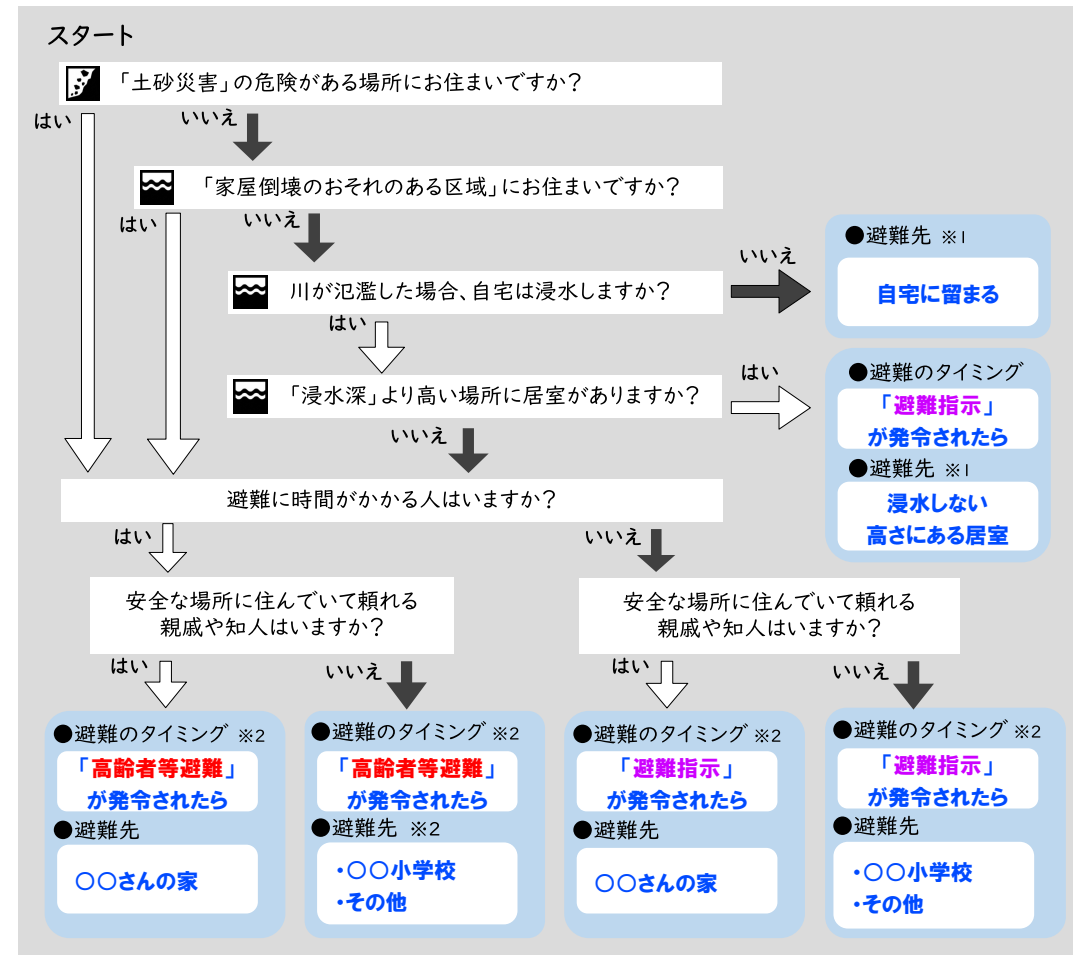
- 下のハザードマップで、家屋倒壊や浸水、土砂災害のおそれがある地区に住んでいるかを確認し、「わたしの避難計画のメモ欄」に記入しましょう。

＜水害ハザードマップ＞



手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する

- ⑦ 矢印をたどって、避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などの備蓄を準備しておこう！
 ※2 避難する際は、安全に避難できるうちに避難しよう！

- ①「情報収集手段」を決め、「わたしの避難計画に記入しましょう。

【避難情報や避難所の開設状況】



LINE公式アカウント

しやんべえ 情報局

- ・同報無線
(屋外スピーカー、戸別受信機)
- ・テレビ **d** ボタン
- ・ラジオ
(FM Haro!)

【気象情報や河川水位情報】



川や気象
防災情報なら
ここ!!

サイボウズ



気象庁 キキクル

Japan Meteorological Agency